

六月の行事食は

厨房謹製

# 助六寿司



「助六」さんは、歌舞伎十八番の主人公。花魁の愛人がいて、その名を「揚げ巻（あげまき）」。

「揚げ巻」の「揚げ」を油揚げの「いなり寿司」、「巻き」を海苔で巻いた「巻き寿司」になぞらえ、この二つを詰め合わせたものを「助六寿司」と呼ぶようになった…とき。

「七月の行事食」は、「うなぎの蒲焼」です。

今回は、「ルーエしもつま」「平間病院」「ラポールしもつま」「ゆうらく」と従業員の昼食を賄っている厨房の活躍をご紹介します。